

ビール粕を用いた尿石症予防試験を実施

和牛肉の美味しさに関わる「オレイン酸」を増やすためには、米ぬかを給与する方法が考えられますが、米ぬか給与は尿がアルカリ性に傾き、ミネラルが結晶化して尿石症のリスクが高まることが課題となっています。そこで当センターでは、令和7年度のFF研究※として、未利用資源であるビール粕給与により、尿のアルカリ化を抑え、尿石症を予防できるか検証しています。

本試験では、ホルスタイン肥育牛を用いてビール粕の給与量と尿 pH の変化を調査したところ、一定の条件下で尿のアルカリ化を抑える効果が確認できました。

この成果を踏まえ、来年度以降は黒毛和種での肥育試験を進め、米ぬかを安心して利用しつつ、より美味しい和牛を安価に生産できる方法の確立を目指していきます。

※FF研究:Foundation for Future Innovative Investigation 研究
未来への革新的研究の基盤となる研究



ビール粕を食べる試験牛



コンテナで貯蔵しているビール粕